

発行日 平成23年2月16日
発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会
神戸市中央区神若通5丁目3番26号
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

朗V連より

新年度代表者名簿作成のお願い

新年度のスタートにあたり、全グループを対象に代表者名簿を作成したいと思いますので



平成23年度の各グループの代表者名の提出をお願い致します。

同封の用紙に記入の上、**3月20日まで**に返信封筒にてご返送下さい。

締め切りまでに代表が決まらない場合は、その旨担当ブロック幹事までご連絡ください。

平成23年度代表者会は**5月18日(水)**を予定しております。

詳細につきましては次号でお知らせします。

お知らせ



てづくりひん展示販売2011

神戸ライトセンター運営協議会の主催による「神戸ライトセンターてづくりひん展示・販売2011」が2011年1月30日(日)中山記念会館で開催されました。

神戸アイライト協会他各グループから提供された、心のこもった手作り品の小袋・エプロン・帽子・レース編み・陶芸等 又、淡路産地直送のほうれん草・キャベツ・カーネーション等盛り沢山の品が展示・販売されました



11時開場(開場30分前には、アイライト協会通所生を中心とした視覚障害者の方を先行入場していただきました)記録的な寒さの中多数ご来場頂き、閉場15時前にほぼ完売状態、好評の中終了しました。

朗V連幹事 北野朝子

情報コーナー

テープからデジターへ ～ こんな方法もあります ～

三木市朗読ボランティア「むれの会」 澤井美紀子

デジター作成が主流になりつつある今、各グループでは様々な形でデジター化に取り組んでいることと思われます。「むれの会」では昨年度から著作権取得済のデジター図書の貸出を開始しています。今年度は、「広報みき」「声のお便り」を利用者の方にデジター版、テープ版でお届けするための準備を進めています。昨年秋に助成金をいただき、パソコン等、デジター化に必要と思われる機材を全て購入し、メンバーの研修にも力をそそぎ、何とか今年の4月から貸出開始が出来るところまで漕ぎつけました。デジター化に向けて様々な方法を検討していく中で、新しい方法を見つけましたので、参考までにご紹介したいと思います。

現在「むれの会」ではテープ図書をデジター化するためにDR-1（デジタル録音機）を利用する方法で行っています。一般的にはカセットデッキ（TC-RX2000T等）とパソコンをオーディオインターフェイスで接続して、倍速で取り込む方法だと思えますが、ご存知の通りTC-RX2000T等のカセットデッキが入手出来ない現状では、過去に作成していたテープ図書等のデジター化は困難となります。「むれの会」には蔵書が230冊ありますが、デジター化出来たのは30冊です。ボランティア室に設置してあるパソコンとカセットデッキ（TC-RX2000T）を利用していましたが、時間的な制約があるためデジター化出来る冊数が限られていたからです。そこで自宅で作成する方法はないかと試行錯誤を繰り返しているうちに、DR-1と手持ちのカセットレコーダー（TCM-400等）を録音用接続ケーブルでつないで取り込めることが解りました。もちろん、カセットデッキ（TC-RX2000T）に比べると多少音質は悪いですが、CDにしてプレクストークで聞いた場合、ほとんど問題はありませんでした。何より自宅で手軽にデジター化出来ることが利点です。

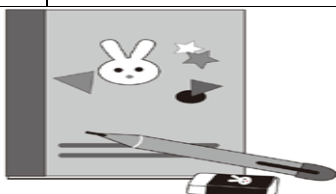
なお、PTR2（録音・再生機）を使用する場合も同じ要領で出来ます。PTR2には録音用接続ケーブルが付属品として付いているので、より便利だと思えます。

以下にDR-1を使用しての作成方法をご紹介しますが、あくまでも「むれの会」で実施している方法です。他にベストな方法があればお知らせ下さい。

必要 機材	DR-1（デジタル録音機）	シナノケンシ社製 （本体のみで、下記の機材は別途必要）
	CFカード	2G・4G（プレクストークのホームページで動作確認済の製品を探してから購入すること）
	カセットレコーダー	手持ちのものが使えるかどうかは、接続して確かめて下さい。ソニー製TCM-400が良好
	録音用接続ケーブル	家電店で購入する時は、「両端がステレオミニプラグで直径3.5mm、抵抗なし」を指定 「むれの会」ではビクターのCN-2031Aを使用
	ヘッドホン又はスピーカー	DR-1は本体から音声が聞こえないために必要
	パソコン（デジター編集ソフト入）	データを取り込んで、編集しCDにする
	USBケーブル	DR-1とパソコンとを接続時に使用

<作成方法>

手 順	操 作 方 法	備 考
事前準備	本・マザーテープ・デージー枠アナテープ・カセットレコーダ DR-1・CFカード・ヘッドホン又はスピーカー * CFカードの容量は訂正し削除した時間も含まれるので予定される録音時間よりも大きいものを準備すること。	DR-1 取扱説明書 P16 PCM設定で2Gなら12時間録音可
録 音	① CFカードを挿入しておく（取り出す時は必ず電源を切る） ② カセットにテープを入れ、録音用接続ケーブルをカセットのヘッドホン端子とDR-1のラインイン端子に接続する。 ③ 電源を入れる ④ 録音設定をPCM22.05kHzにする ⑤ 録音ボタンを一度押し、テープを再生して音量確認をした後、テープを巻き戻して頭出しをしてから、再度録音ボタンを押して開始する（音量レベル-10dBを超えないほうが良い） ⑥ A面が終わってテープが止まったら、DR-1を停止して、B面に返して再度録音を開始する	DR-1 取扱説明書 P26 ～P43 *停止ボタンを押さないと録音は終わらないので注意する事
バックアップ パソコンへの データの受け 渡し	① 録音完了後、CFカードを入れたまま、DR-1とパソコンをUSBケーブルで接続すると、データ表示画面が出る ② デスクトップ上に新規フォルダを作成後、カード内のBookDir0のフォルダとHTML Documentをコピーしデスクトップ上の新規フォルダに貼り付ける *デスクトップ上で右クリックすると項目が出るので、新規作成のフォルダを左クリックして選択。フォルダ名を日本語表記で記入	DR-1 取扱説明書 P56 「むれの会」での方法です。
デージー編集	① PRSでデスクトップ上のフォルダを開き、セクションを設定し、見出し名を入力 ② テープ枠アナを削除する ③ ページ付をする（手動ページの必要があれば設定する） ④ 書誌情報入力	PRSを使って編集 「はじめてのDAISY」参照
ビルドブック	削除した余分な音声データを完全消去する	
通し聞き	① 音声エクスポートで「PCM 22.05kHz」から「MP3 64kbps」に変換した後、CD-RWにコピーする ② PTR-1を使用して朗読者本人が全部を聞き、確認する ③ 訂正箇所があれば「PCM 22.05kHz」のフォルダで訂正する	CD-RWにコピーする場合は、書誌情報入力をしておく
ビルドブック	訂正等、編集を行った場合は、デージー図書として完成させるために再度行う。	



音声エクスポ ート	「PCM 22.05kHz」から「MP3 64kbps」に変換する *録音時間が4時間以内なら、「PCM 22.05kHz」のままよい CD1枚に「PCM 22.05kHz」なら260分、「MP3 64kbps」なら22時間の録音が可能です	「はじめてのD A I S Y」参照 *長時間かかる 場合があるので 注意する
CD化	完成した後、CD-Rをパソコンに挿入し、コピーする	「はじめてのD A I S Y」参照



グループ紹介 数珠繋ぎ



今回で8回目になりましたグループ紹介数珠繋ぎですが、それぞれのグループの活動がよくわかり、励まされたり、感化されたり、心強く思えたり…。出来れば多くの会員の皆様に目を通して頂き、これからの活動にいかしていただければと思います。

今回は、B-3 神戸市 朗読の会 神戸草笛とB-4 神戸市 朗読グループ 虹をご紹介します

【神戸市 朗読の会 神戸草笛】

代表 小津 不二夫

「神戸草笛」は1990年設立に先立って1年かけて朗読ボランティア養成講座を20回実施。これを機に目の不自由な方のニーズに応えるため、録音テープを制作してみようと、利用者の希望も聞いて開始(1991)。朗読と人のつながりをたいせつに、目の不自由な方たちや地域の子どもたちのために、朗読をとおした活動を続けています。20年余たった現在、メンバーは28名。主な活動は毎月2回、コープこうべ情報紙および「コンピューター情報」というパソコン応用の解説・情報を集めたものを朗読・録音し、デジイ編集したCDを制作、視覚障がい者に貸し出しています。利用者数は110件。

「コンピューター情報」の利用者は全国にまたがり、点字図書館経由も含め多くの利用者に読まれています。

また2年に一度CDの「利用者との交流会」を開催しています。利用者の要望を聞く場を設け、お昼の会食後は歌やゲームを楽しみながらお互いの理解や親睦を深めています。

ほかにも子どもたちへの読み聞かせとして、毎月1回児童館などで「子どもひろばおはなしの会」を開いたり、夏まつりや地域のフェスティバルに参加・協力しています。朗読の学習会は同じ教材で月2回開くことで、メンバーが参加しやすいようにしています。様々なジャンルから選んだ文章をテキストに、奥の深い表現の世界を探求し、レベルアップを図っています。



【朗読グループ 虹】

白石 みどり

雨上がりの空に七色に輝く「虹」。
時にはまるで架け橋のように山と山をつないでその美しさを見せてくれます。
私たち朗読グループ「虹」は平成13年に発足しました。
グループ名の「虹」にはボランティアを通じて人と人との架け橋に！との思いが込められています。

現在のメンバーは虹の七色をこえる13人（色？）の個性あふれる面々でそれぞれが学習と活動の場を求めて集まっています。
学習会では難しい朗読に悪戦苦闘しながらもどこか和やかな雰囲気が流れており、それは私達「虹」のカラーなのかもしれません。

活動の一つ「こべっこランドでの幼児向け読み聞かせ」にも、楽しみに集まってくる子供達の笑顔に支えられているという喜びがメンバーの中に根付いています。又、広報誌「市民の福祉」の音訳版制作の他、「依頼図書の録音制作」等も行なっており、さらに「Let's の会」の発表会にむけてはメンバー全員が協力して出演者をサポートしています。

早いもので私たち「虹」も今年で10年の節目を迎えることになりました。
これからも初心の精神を忘れず、あたたかな「虹」の架け橋をつないでいきたいと思っています。



厚生労働大臣表彰を受賞

かしの実グループ（加西） 代表 高橋 妙子

私たち「かしの実グループ」はこの度「厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

この賞は「20年以上継続して活動を行ってきた個人・団体」が対象で、今回は1個人と2団体が受賞し、表彰式は平成22年11月5日（金）赤穂市文化会館ハーモニーホールで行なわれました。

今回の表彰は、創立時から現在の会員へと受け継がれてきボランティア精神と活動を評価していただいたものと思います。

この受賞を励みにより一層精進して活動してまいります。



山朗研一日朗読研修会のご案内



日時：3月29日（火）・30日（水）・4月1日（金）
受付：9：30～ 研修 10：00～15：00
場所：神戸市東部在宅障害者福祉センター内 多目的ホール（JR 灘駅南）
定員：各日60人（先着順で定員になり次第締め切り）
参加費：1000円（教材費を含む） 昼食は各自持参
申込方法：各グループでまとめて、グループ名・参加者氏名・参加日（第二希望日までお伝えください） 連絡先のTELをFAXでお知らせください。
申込み締切日：2月28日（月）
問い合わせ&申し込み：木村章子
原則として1日通しての出席をお願いします。

KLCからのお知らせ

お知らせ

いつも朗V連の活動に御協力頂きありがとうございます。
中山視覚障害者福祉財団の名称が変更になりました。
正式名は、公益財団法人中山視覚障害者福祉財団です。

中山記念会館内(公益財団法人中山視覚障害者福祉財団)にある神戸ライトセンター運営協議会(KLC)は、神戸アイライト協会・点V連・伴走者協会・ASVこうべ・JBOS・朗V連の6団体による視覚障害者へのトータルサポートを目指しています。今年から2ヶ月に一度、下記のホームページにポシエットを掲載させていただきますので一度ご覧になってください。

ホームページのアドレスは <http://kobelc.web.fc2.com/> です。HP上は「2月号」と表示されます。また、「KLC」の電話・問い合わせなどは 電話:080-4024-6664 海士(かいし)まで。

☆☆

ブロック	地区	氏名 (グループ名)
A	東部・北部地区	大垣 多恵子 (音訳Vともしび)
B	神戸・明石地区	浅見 まり子 (花いかだ)
C	淡路地区	昆陽 隆子 (ひとみの会)
D	東播地区	新家 節子 (かしの実グループ)
E	西播地区	國重 眞由美 (せせらぎ)

『ポシエット』では各グループの活動などを紹介しています。どうぞ原稿をお寄せ下さい。その他、耳寄りな情報やご意見ご希望なんでも結構です！

ポシエットの内容に関するご連絡、ご質問は携帯電話 **080-5703-8543** (大垣多恵子) までご連絡ください。

編集後記



寒い寒いと言いながらも季節は緩やかに移ろい、梅の花はちらほらと蕾が膨らみはじめ、刻々と季節を告げています。あ～寒い！（新家）記録的な寒さ、火山の噴火 今年も騒がしいニュースがいっぱい。でも2月も半ば花の便りが待たれます。春よ来～い！（北野）